第八回 徒然草エッセイ大賞

〈募集テーマ〉

はじまり

はじまりはいつも、ワクワクドキドキ
新しい世界へ歩み出す私たち
ときに「はじまり」は、あとから気づくもの
いつ、どこで、どう始まった？
問いかけながら物語を紡ぎます
様々な「はじまり体験」「はじまり物語」大募集！

徒然人よ、筆をとれ。

作品募集中！

徒然草と八幡市

人生論や失敗談、心なごむ世間話から社会批評まで、兼好法師が、つれづれなるまま、心のおもむくままに綴った、鎌倉末期の著名なエッセイ集『徒然草』。
八幡市にある石清水八幡宮（現・国宝）の参詣に臨んだが結局実現できず、「どんなことにも先輩や経験者の助言は必要」と結ばれる第52段は、とりわけ有名です。

選考委員

- 山極 壽一（総合地球環境学研究所所長・人類学者）※委員長
- 茂木 健一郎（脳科学者）
- 中江 有里（女優・作家・歌手）
- 田中 恆清（石清水八幡宮宮司）
- 寺田 昭一（月刊誌「歴史街道」特別編集委員）
- 川田 翔子（八幡市長）

部門・字数・賞

一般の部　2,000字（400字詰原稿用紙5枚）以内
大賞1編（副賞20万円）　優秀賞3編（副賞5万円）　佳作5編（副賞1万円）

中学生の部　1,200字（400字詰原稿用紙3枚）以内
大賞1編（副賞1万円）　優秀賞3編（副賞5千円）　佳作5編（副賞3千円）※副賞は図書カード

小学生の部　800字（400字詰原稿用紙2枚）以内
大賞1編（副賞5千円）　優秀賞3編（副賞3千円）　佳作5編（副賞2千円）※副賞は図書カード

応募締切　令和6年9月20日（金）必着

郵送・Eメール・ホームページから応募が可能です。
徒然草エッセイ大賞　検索
https://www.tsurezure-essay.jp

主催：八幡市　八幡市教育委員会　共催：PHP研究所　協力：石清水八幡宮
後援：京都府　京都府教育委員会　歴史街道推進協議会　古典の日推進委員会　八幡市文化協会　（公財）やわた市民文化事業団　（一社）八幡市観光協会　八幡市商工会　八幡市工業会

【八幡市公式HP】
http://www.city.yawata.kyoto.jp/

八幡市

@yawata_official　@yawata_official　@yawata_official
八幡市公式SNSで、八幡市の魅力など様々な情報を発信中！

第八回 徒然草エッセイ大賞 募集要項

京都府八幡市が創設した「徒然草エッセイ大賞」は第八回を迎えます。
全国から優れたエッセイ（随筆）作品を募集いたします。今回のテーマは「はじまり」です。

募集テーマ「はじまり」

はじまりはいつも、ワクワクドキドキ
新しい世界へ歩み出す私たち
ときに「はじまり」は、あとから気づくもの
いつ、どこで、どう始まった？ 問いかけながら物語を紡ぎます
様々な「はじまり体験」「はじまり物語」大募集！

部門・字数・賞

一般の部	2,000字（400字詰原稿用紙5枚）以内 大賞1編（副賞20万円） 優秀賞3編（副賞5万円） 佳作5編（副賞1万円）
中学生の部	1,200字（400字詰原稿用紙3枚）以内 大賞1編（副賞1万円） 優秀賞3編（副賞5千円） 佳作5編（副賞3千円） ※副賞は図書カード
小学生の部	800字（400字詰原稿用紙2枚）以内 大賞1編（副賞5千円） 優秀賞3編（副賞3千円） 佳作5編（副賞2千円） ※副賞は図書カード

応募方法

作品とは別の用紙に ●作品タイトル ●氏名（フリガナ）●年齢 ●性別 ●職業 ●学校名と学年（小中高生の場合）●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●この賞を何で知ったか ●（お持ちの場合は）Eメールアドレスを明記し、必ず作品に添付して「郵送」「ホームページ内所定フォーマット」又は「Eメール」のいずれかで下記へご応募ください。

宛先：「徒然草エッセイ大賞」事務局

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75
八幡市政策企画部生涯学習課 ☎075-983-3088
yawata@tsurezure-essay.jp
https://www.tsurezure-essay.jp 徒然草エッセイ大賞 検索

応募締切

令和6年9月20日（金）必着

入選作発表

- ●令和7年2月初旬までに、入選者に結果を通知します。
- ●令和7年2月末までに入選作を発表し、専用HPで作品名と入選者名を公表します。
- ●授賞式の翌営業日に、専用HP上で入選作品全文を公表します。
- ●大賞3作品は、小説・エッセイ文庫「文蔵」（PHP研究所発行）誌上に採録します。
- ●「入選作品集」を作成し、入選者に提供、図書館等に配布します。

授賞式

令和7年3月15日（土）午後に石清水八幡宮で授賞式を行います。大賞および優秀賞受賞者には旅費を負担します。
※佳作受賞者は自己負担をお願いします。

＜応募上の注意＞

- ＊プロ・アマは問いません。どなたでも応募できます
- ＊応募は1人1作品に限ります
- ＊国籍は問いませんが、日本語作品に限ります
- ＊応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります（著作権問題や二重投稿が判明した場合は失格とし、入選決定後に判明した場合は入選を取り消しします）
- ＊応募作品は返却しません
- ＊審査や結果に関するお問い合せには応じかねます
- ＊規定文字数内であれば、文字数の多寡は審査に影響を及ぼしません
- ＊学校・学級・クラス単位の応募も可能です
- ＊入選作の著作権は主催者に帰属します
- ＊入選作品は、作品、作者名、年齢、市区町村名を入選作品集やホームページ、新聞等で公表します
- ＊授賞式内で撮影する集合写真は、後日専用ホームページにて掲載します
- ＊授賞式の様子は専用ホームページにて、一定期間動画配信を行います
- ＊最終選考作品は作品名及び作者名を入選作品集に掲載します
- ＊応募で得た個人情報は当事業以外の目的で使用しません
- ＊応募にあたっては、上記に同意いただいたものとみなします

徒然草について

鎌倉～室町期に生きた法師・吉田兼好が、つれづれなるまま、心のおもむくままに綴ったエッセイ集で、『枕草子』『方丈記』と並ぶ日本三大随筆文学のひとつ。多彩な全243話で構成されています。以下は有名な序文です。

つれづれなるままに　日くらし硯にむかひて
心にうつりゆくよしなし事を　そこはかとなく
書きつくれば　あやしうこそ　ものぐるほしけれ
（することもなく手持無沙汰なのにまかせて、一日じゅう硯に向かい、心に浮かぶとりとめないことを、あてもなく書いていると、不思議に心が高ぶってくることよ）

京都府八幡（やわたし）市について

京都府南部に位置し、平安京守護のために建立された石清水八幡宮の門前町として古来より発展。国宝・石清水八幡宮を擁する男山、松花堂庭園、桂川・宇治川・木津川が出会う三川合流域、桜並木が見事な背割堤、流れ橋などの歴史・文化・自然を有し、来訪者に様々な“出会いの物語”を提供する観光まちづくりに取り組んでいます。令和4年に、市制施行45周年を迎えました。

八幡市